

体の麻痺した人を癒やす(中風の人をいやす) マルコによる福音書 2:3~12 他

口語訳

03
すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。

04
ところが、群衆のために近寄ることができないので、イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろした。

05
イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、「子よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。

06
ところが、そこに幾人かの律法学者がすわっていて、心の中で論じた、

07
「この人は、なぜあんなことを言うのか。それは神をけがすことだ。神ひとりのほかに、だれが罪をゆるすことができるか。」

08
イエスは、彼らが内心このように論じているのを、自分の心ですぐ見ぬいて、「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを論じているのか。」

09
中風の者に、あなたの罪はゆるされた、と言うのと、起きよ、床を取りあげて歩け、と言うのと、どちらがたやすいか。

10
しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために」と彼らに言い、中風の者にむかって、

11
「あなたに命じる。起きよ、床を取りあげて家に帰れ」と言われた。

12
すると彼は起きあがり、すぐに床を取りあげて、みんなの前を出て行ったので、一同は大いに驚き、神をあがめて、「こんな事は、まだ一度も見たことがない」と言った。

新共同訳

03
四人の男が中風の人を運んで来た。

04
しかし、群衆に阻まれて、イエスのもとに連れて行くことができなかったので、イエスがおられる辺りの屋根をはがして穴をあけ、病人の寝ている床をつり降ろした。

05
イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、あなたの罪は赦される」と言われた。

06
ところが、そこに律法学者が数人座っていて、心の中であれこれと考えた。

07
「この人は、なぜこういうことを口にするのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」

08
イエスは、彼らが心の中で考えていることを、御自分の霊の力ですぐ知って言われた。「なぜ、そんな考えを心に抱くのか。」

09
中風の人に『あなたの罪は赦される』と言うのと、『起きて、床を担いで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

10
人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に言われた。

11
「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。」

12
その人は起き上がり、すぐに床を担いで、皆の見ている前を出て行った。人々は皆驚き、「このようなことは、今まで見たことがない」と言って、神を賛美した。

聖書協会共同訳

03
四人の男が体の麻痺した人を担いで、イエスのところへ運んで来た。

04
しかし、大勢の人がいて、御もとに連れて行くことができなかったので、イエスがおられる辺りの屋根を剥がして穴を開け、病人が寝ている床をつり降ろした。

05
イエスは彼らの信仰を見て、その病人に、「子よ、あなたの罪 sins は赦された」※₁と言われた。

06
ところが、そこに律法学者が数人座っていて、心の中で考えた。

07
「この人は、なぜあんなことを言うのか。神を冒瀆※₂している。罪を赦すことができるのは、神おひとりだ。」

08
イエスは、彼らが考えていることを、ご自分の霊ですぐに見抜いて、言われた。「なぜ、そんな考えを心に抱くのか。」

09
この人に『あなたの罪 sins は赦された』と言うのと、『起きて、床を担いで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

10
人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、体の麻痺した人に言われた。

11
「あなたに言う。起きて床を担ぎ、家に帰りなさい。」

12
すると、その人は起きて、すぐに床を担いで、皆の見ている前を出て行った。人々は皆驚嘆し、「このようなことは、今まで見たことがない」と言って、神を崇めた。

※1 : KJB: Son, thy sins be forgiven thee.

※2 : 崇高なものや神聖なもの等を、穢し、貶(おとし)める行為、または発言。一般には「冒瀆」と記す。聖書に「冒瀆」は 35 聖句、39 回登場する (→旧約 : 10 聖句/11 回、新約 : 25 聖句/28 回)。

→レビ記 24 : 15 あなたはイスラエルの人々に告げなさい。神を冒瀆する者はだれでも、その罪を負う。